2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社メンタルヘルステクノロジーズ　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　9218　　URL　https://mh-tec.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　刀禰　真之介
問合せ先責任者　（役職名）　取締役コーポレート本部部長　（氏名）　樋口　晴将　　TEL　03(6277)6595

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	6,478	38.5	480	10.7	445	10.7	256	4.6
2025年12月期第３四半期	4,677	27.3	434	―	402	―	245	―

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　　256百万円（　4.6%）　2025年12月期第３四半期　　245百万円（　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2026年12月期第３四半期	24.49	24.25
2025年12月期第３四半期	23.68	23.22

（注）2025年12月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期第３四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	5,903	1,722	25.9
2025年12月期	5,368	1,566	25.5

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,530百万円　　2025年12月期　1,369百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2025年12月期	―	0.00	―	10.00	10.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	9,252	43.8	700	17.0	528	20.6	286	12.5	27.28

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
２．「１株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2026年９月30日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　1社（社名） インクルード株式会社 、除外　　ー社（社名） ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	10,507,300株	2025年12月期	10,447,300株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	64株	2025年12月期	64株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	10,490,972株	2025年12月期３Ｑ	10,370,540株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．４「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法）

当社の決算補足説明資料につきましては、2026年11月13日(金)にTDnet及び当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（四半期連結損益計算書） …… 7
（第３四半期連結累計期間） …… 7
（四半期連結包括利益計算書） …… 8
（第３四半期連結累計期間） …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

2024年12月18日に行われた株式会社みらい産業医事務所との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、前連結会計年度末に確定したため、前連結会計年度の比較分析に当たっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、トランプ米大統領による高関税政策に不確定要因が残るものの、猛暑によって家電製品や日用品等への特需が生じたことや、好調な建設需要やデジタル投資・人的投資の拡大により、景況感はやや改善しております。

こうした状況の中、当社グループにおきましては、主力であるメンタルヘルスソリューション事業を中心に、大手企業向けコンサルティング提案営業の推進や既存顧客への追加提案が奏功し、新規契約の獲得を含め業績は堅調に推移いたしました。なお、不透明な海外情勢等の影響につきましては、一部顧客において事業場の統廃合や人員見直しに伴う解約が見られたものの、事業全体への影響は軽微かつ限定的なものに留まっております。

当第３四半期連結累計期間において、当社グループでは2026年３月31日付でリワーク事業（職場復帰支援）を展開するインクルード株式会社の株式を100%取得し、連結子会社化いたしました。今回の取得により、当社グループはメンタル不調の予防から、早期発見、そして復職支援までを一気通貫でサポートできる体制を確立しました。これにより、顧客企業へのさらなる価値提供と、社会課題である「メンタル不調者の職場復帰」への貢献を加速させてまいります。

新たな子会社の取得及び各事業の進捗を踏まえて、2024年12月期に策定した、2027年12月期において連結売上高100億円、営業利益20-25億円を達成目標とする「中期経営計画ＭＨＴ100/20-25」について、修正を行いました。まず目標達成の時期を１年順延して2028年12月期とし、連結売上高目標を100億円から150億円へと引き上げました。また、営業利益の目標については、昨年業績予想を下方修正したことを踏まえ、着実な達成を目指すため旧中期経営計画の下限の20億円と設定しました。今回の目標値は、既存の２つの成長エンジンによる内部成長のみをベースとしており、今後発生する可能性のある、企業買収等による事業拡大については考慮しておりません。

当第３四半期連結累計期間においては、前期に新設した株主優待制度に伴う個人株主急増関連費用や、インクルード株式会社の株式取得に係る一時的経費等を主に第１四半期において計上いたしましたが、主力事業の力強い成長によってその影響を吸収し、堅調な業績を維持いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,478,101千円(前年同期比38.5％増)、営業利益480,547千円(前年同期比10.7％増)、経常利益445,460千円(前年同期比10.7％増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は256,965千円(前年同期比4.6％増)となりました。

セグメント毎の経営成績は以下のとおりであります。

ａ．メンタルヘルスソリューション事業

メンタルヘルスソリューション事業では、産業医及び保健師等による役務提供サービスと労働者の心身の健康管理に関する各種クラウド型サービス「ELPIS」をパッケージ化し、「産業医クラウド」の名称で提供しております。

当第３四半期連結累計期間におけるメンタルヘルスソリューション事業においては、「産業医クラウド」のサービス内容の追加・再編等のブラッシュアップを実施しております。また、新規顧客獲得のための、顧客サービス体制の強化、大手企業向けコンサルティング提案営業の推進、既存顧客へのサービス追加による増額提案活動なども引き続き行ってまいりました。

グループ内子会社との連携については、株式会社Avenirと株式会社明照会労働衛生コンサルタント事務所との間で営業活動の相互支援、新規事業開発等の相乗効果が進んでおります。2024年12月に子会社化した株式会社みらい産業医事務所も、株式会社Avenirに管理業務を集約し業務の効率化が進んでおります。また、株式会社ヘルスケアＤＸのメンタルクリニック運営支援サービスについては、業務運営が安定化し、支援先の拡大により収益基盤としての重要性が増しています。2026年３月31日付で子会社化したインクルード株式会社については、従来より業務提携関係にありましたが、今後はメンタルヘルスソリューション事業内のリワーク事業として、より一層連携を深めてまいります。

この結果、当第３四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高3,427,932千円(前年同期比53.5%増)、セグメント利益1,031,812千円(前年同期比58.4%増)となりました。

ｂ．メディカルワークシフト事業

当第３四半期連結累計期間におけるメディカルワークシフト事業においては、当社グループに参加したことに伴う企業運営方法の統合が進みました。管理部門のデジタル化推進による効率化に加え、派遣スタッフの定着を目的とした人事評価制度の構築、他社との差別化を図るための派遣スタッフのレベルアップ研修等の新たな施策に取り組みました。また、営業エリアを拡大するため、新たに福岡支店を開設いたしました。一方これらの施策のための投資的経費も計上しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高2,978,939千円(前年同期比26.7%増)、セグメント利益は193,320千円(前年同期比1.2%減)となりました。

ｃ.その他事業

当第３四半期連結累計期間におけるその他事業において、メディカルキャリア支援事業では、前連結会計年度に引き続き、産業保健事業との連携に注力してまいりました。また、デジタルマーケティング事業では前連結会計年度に引き続き、受注制作に関して既存顧客の保守案件を安定的に受注する一方、グループ企業向けのマーケティングに注力してまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高71,230千円（前年同期比24.4%減）、セグメント損失は9,698千円（前年同期はセグメント利益4,320千円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

(資産)

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ535,147千円増加し、5,903,380千円となりました。

これは、主な増加要因としてインクルード株式会社の連結子会社化により、売掛金が377,986千円増加して1,229,768千円となり、のれんが193,607千円増加して1,911,176千円、建物及び構築物（純額）が54,141千円増加して160,283千円となったことが挙げられます。一方減少要因として、現金及び預金が204,844千円減少の1,287,206千円となったことが挙げられます。

(負債)

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ379,181千円増加し、4,180,860千円となりました。主な増加要因は、長期借入金が260,350千円増加し2,371,152千円となったこと、未払金が100,857千円増加の505,437千円となったこと、及び１年内返済予定の長期借入金が95,608千円増加し603,743千円となったことであります。一方主な減少要因は、株主優待引当金を全額取崩したため119,083千円減少したこと、未払法人税等が51,878千円減少し83,609千円となったことであります。

(純資産)

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ155,966千円増加し、1,722,520千円となりました。これは主に、利益剰余金が152,493千円増加し、421,047千円となったことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2026年３月31日に公表した「2026年12月期業績予想に関するお知らせ」から変更はございません。詳細につきましては、同日に開示しております「事業計画及び成長可能性に関する事項の開示」をご参照ください。

当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,492,051	1,287,206
売掛金	851,781	1,229,768
仕掛品	67	－
貯蔵品	3,724	4,325
未収入金	224	1,695
未収還付法人税等	－	782
前払費用	40,189	88,436
その他	20,780	26,418
貸倒引当金	△6,940	△10,247
流動資産合計	2,401,879	2,628,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	120,865	210,310
減価償却累計額	△14,724	△50,026
建物及び構築物（純額）	106,141	160,283
車両運搬具	－	559
減価償却累計額	－	△559
車両運搬具（純額）	－	0
工具、器具及び備品	24,173	68,118
減価償却累計額	△14,320	△35,766
工具、器具及び備品（純額）	9,853	32,351
建設仮勘定	－	12,419
有形固定資産合計	115,994	205,053
無形固定資産		
のれん	1,717,568	1,911,176
顧客関連資産	691,791	659,597
ソフトウエア	73,620	121,487
ソフトウエア仮勘定	57,786	37,804
無形固定資産合計	2,540,767	2,730,066
投資その他の資産		
投資有価証券	58,026	58,026
出資金	131	131
長期前払費用	9,480	10,353
長期貸付金	131,230	143,289
差入保証金	63,548	84,097
繰延税金資産	47,173	43,978
投資その他の資産合計	309,591	339,876
固定資産合計	2,966,353	3,274,996
資産合計	5,368,233	5,903,380

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	147,157	163,127
１年内返済予定の長期借入金	508,135	603,743
未払金	404,579	505,437
未払法人税等	135,487	83,609
未払消費税等	141,167	137,493
契約負債	15,802	22,834
預り金	26,857	26,085
賞与引当金	－	35,574
ポイント引当金	2,458	5,058
株主優待引当金	119,083	－
流動負債合計	1,500,728	1,582,962
固定負債		
長期借入金	2,110,802	2,371,152
資産除去債務	－	33,668
繰延税金負債	190,148	193,077
固定負債合計	2,300,950	2,597,897
負債合計	3,801,679	4,180,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,769	559,269
資本剰余金	545,849	550,349
利益剰余金	268,554	421,047
自己株式	△78	△78
株主資本合計	1,369,094	1,530,588
新株予約権	197,459	191,932
純資産合計	1,566,553	1,722,520
負債純資産合計	5,368,233	5,903,380

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,677,855	6,478,101
売上原価	3,096,629	4,417,447
売上総利益	1,581,226	2,060,653
販売費及び一般管理費	1,147,123	1,580,106
営業利益	434,102	480,547
営業外収益		
受取利息	2,922	6,249
受取配当金	2	2
助成金収入	－	5,385
受取和解金	－	5,500
雑収入	236	4,894
営業外収益合計	3,161	22,032
営業外費用		
支払利息	31,049	45,709
支払手数料	－	5,900
寄付金	－	3,550
雑損失	3,682	1,958
営業外費用合計	34,732	57,118
経常利益	402,531	445,460
特別利益		
新株予約権戻入益	1,002	5,656
特別利益合計	1,002	5,656
特別損失		
固定資産除却損	530	164
特別損失合計	530	164
税金等調整前四半期純利益	403,003	450,951
法人税、住民税及び事業税	129,176	165,867
法人税等調整額	28,279	28,118
法人税等合計	157,455	193,985
四半期純利益	245,548	256,965
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	245,548	256,965

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	245,548	256,965
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	－	－
四半期包括利益	245,548	256,965
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,548	256,965
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額、及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	32,244千円	40,251千円
のれんの償却額	71,208	100,632
顧客関連資産償却額	32,102	32,102

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	メンタルヘルスソリューション事業	メディカルワークシフト事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,232,805	2,350,866	94,184	4,677,855	－	4,677,855
外部顧客への売上高	2,232,805	2,350,866	94,184	4,677,855	－	4,677,855
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,050	－	41,341	42,391	△42,391	－
計	2,233,855	2,350,866	135,525	4,720,247	△42,391	4,677,855
セグメント利益	651,453	195,612	4,320	851,386	△417,283	434,102

（注）１．セグメント利益の調整額△417,283千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費等であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	メンタルヘルスソリューション事業	メディカルワークシフト事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,427,932	2,978,939	71,230	6,478,101	－	6,478,101
外部顧客への売上高	3,427,932	2,978,939	71,230	6,478,101	－	6,478,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,883	－	39,535	41,418	△41,418	－
計	3,429,815	2,978,939	110,766	6,519,520	△41,418	6,478,101
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,031,812	193,320	△9,698	1,215,434	△734,887	480,547

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△734,887千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費等であります。
２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
３．前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

第１四半期連結会計期間において、インクルード株式会社の全株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。これにより「メンタルヘルスソリューション事業」において、のれんが294,239千円発生しております。

なお、のれんの金額は当第３四半期連結累計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。